

# 平成22年度決算

昨年度の各会計決算が、9月に開かれた第3回定例市議会  
で認定されました。その概要についてお知らせします。本市  
ホームページにも詳しい資料を掲載しています。なお、金額  
は1万円未満を整理しています。

問い合わせは 財政課 ☎898-6542

## 決算概要

一般会計決算額の歳入歳出総額は、歳入が1,377億6,420万円、歳出が1,339億6,711万円でした。歳入歳出差引額は37億9,709万円です。本年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、25億3,692万円の赤字。このうち、15億円を財政調整基金に積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、3,430万円のマイナスになりました。

市債残高(借入金残高)は、地方交付税代替財源である臨時財政対策債を除くと、約1、

052億円に縮減しました。

今後も、暮らし優先の施策と市民サービスの二層の充実を図るため、自主財源の確保や事業の選択と集中に努め、市民の視点に立った行財政改革を着実に推進していきます。

## 一般会計

主な財政改革として、歳入面では、市税の収納率向上を図るため、ペイジー収納の導入により納税環境を整え、訪問による納税催告や納税相談などの初期滞納対策を実施。この結果、収納率は目標の94%を上回る95・8%となり、6年連続上昇しました。また、市民課証明窓

口用封筒、防災マップなど市の発行物に有料広告を掲載するなど、自主財源の確保に努めました。

歳出面では、民間委託の推進

や公民館用務技士の廃止などで36人の職員を削減。また、市債残高を縮減(平成15年度末比縮減額(臨時財政対策債を除く)312・5億円)しました。

## 歳入

市税は、個人市民税は減額となりましたが、法人市民税が増額となったほか、昨年6月から事業所税の課税が開始されたことなどにより、全体では増額となりました。また、地方交付税や土地の売払いによる財産収入が増額となった一方で、国庫支出金や財政調整基金などからの繰入金金は、減額となりました。なお、財政調整基金の取り崩しは、前年度より13億7,000万円減の3億3,000万円でした。

## 歳出

定額給付金支給事業の終了などにより総務費が減額となった一方で、子ども手当支給事業の開始などにより民生費は増額となりました。また、西消防署

の建設用地購入や新防災行政無線の設置などにより消防費は増額。なお、昨年度の主な施策・事業については、下表のとおりです。

## 特別会計

### 国民健康保険

適正な保険給付を行うとともに、人間ドックの補助や特定健康診査等事業を実施するなど、保健事業を推進しました。

### 老人保健

後期高齢者医療制度の創設により廃止された老人保健制度での医療費の適正な支出や精算などを実施しました。

### 後期高齢者医療

医療保険者である県後期高齢者医療広域連合へ納付金を納めるとともに、各種申請の受付などの窓口業務や保険料の徴収業務を行いました。

### 競輪

寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント競輪などを開催したほか、グリーンドーム前橋の建設費の償還や維持管理について支援しました。また、継続的な経営改善に努め、1億円を一般会計へ繰り出しました。

## 農業集落排水事業

荒砥北部地区や白川東地区の管路施設工事などを実施。接続率の向上や施設の適正な維持管理に努めました。

## 介護保険

介護の必要が高齢者などが能力に応じた自立生活を営めるよう、サービス向上や事業の円滑な運営に努めました。

## 簡易水道事業等

宮城地区の湯之沢小水道施設などの適正な維持管理に努めました。

## 母子寡婦福祉資金貸付金

福祉資金の貸付を行い、母子家庭や寡婦の生活安定と子どもの福祉増進を図りました。

## 企業会計

### 水道事業

第七次拡張事業や既存施設整備事業などを中心とした施設の整備・拡充と適正な維持管理に努めました。

### 下水道事業

生活環境の改善や河川の水質保全を図るために、下水道普及率の向上を目指し、施設の整備・拡充や下水道施設の適切な維持管理に努めました。

## 平成22年度実施した一般会計の主な施策・事業

快適で暮らしやすいまちづくり		個々が光り輝くまちづくり	
千代田町三丁目の土地区画整理事業	1,626万円	新さわやか健康診査事業	1億3,201万円
合流式下水道の改善	3,927万円	がん検診事業	7億5,513万円
住生活基本計画策定	840万円	予防接種事業	7億1,522万円
前橋駅周辺地区 前橋駅北口広場整備等	3億9,023万円	子ども手当支給事業	55億228万円
狭あい道路整備等促進	1億7,442万円	低年齢児・3歳児保育補助事業	1億3,614万円
西消防署建設事業	8億1,280万円	母子保健事業	3億7,082万円
恵み豊かな自然と共生するまちづくり		児童クラブ運営事業	2億6,533万円
自然環境基礎調査(富士見地区)	625万円	幼児同乗用自転車購入費助成事業	325万円
前橋こども公園整備	9,997万円	しきしま老人福祉センター大規模改修	2億4,768万円
膳城址公園整備	448万円	みんなの店推進事業	240万円
不法投棄等休日監視業務委託	480万円	豊かな心を育むまちづくり	
斎場整備	6億5,489万円	児童文化センター再整備	1億2,220万円
古紙分別モデル事業	232万円	総社公民館整備事業	1億4,099万円
住宅用高効率給湯器設置費補助	726万円	地区公民館図書室の民間委託	1億1,004万円
新清掃工場整備事業	6,570万円	大学整備事業	2億1,893万円
営農活動支援	110万円	下増田運動広場整備	3億4,570万円
地域資源を活かした活力あるまちづくり		美術館構想の推進	2,704万円
特別融資預託金	57億8,012万円	市民文化会館整備	7億7,834万円
産学官連携促進事業	382万円	市民協働のまちづくり	
雇用対策事業	540万円	地域づくり推進事業の継続・モデル地区の拡大	782万円
商店街空洞化対策事業	996万円	農村環境保全向上活動支援事業	2,681万円
有害鳥獣駆除対策事業	570万円	コミュニティFM設立等支援	1,609万円
観光基本計画推進事業	2,134万円	市民会議運営事業	5万円
赤城山振興プロジェクト	1,195万円	公益法人改革推進事業	2,410万円
赤城山直通バス補助	141万円	まえばし市民ネットワークシステム(SNS)の運営	238万円
観光プロモーション事業	3,115万円	総合型GIS整備事業	8,878万円

## 平成22年度各会計決算

一般会計・特別会計		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,377億6,420万円	1,339億6,711万円
国民健康保険	353億2,981万円	341億3,533万円
老人保健	3,056万円	2,674万円
後期高齢者医療	30億8,765万円	30億6,519万円
競輪	208億853万円	203億47万円
農業集落排水事業	11億8,080万円	11億7,977万円
介護保険	205億1,873万円	202億4,634万円
簡易水道事業等	640万円	529万円
母子寡婦福祉資金貸付金	9,100万円	709万円
小計	810億5,348万円	789億6,622万円
合計	2,188億1,768万円	2,129億3,333万円

企業会計決算		
会計名	歳入	歳出
水道事業	70億4,107万円	88億2,992万円
下水道事業	93億928万円	117億7,913万円
合計	163億5,035万円	206億905万円

※水道事業・下水道事業の歳出は、現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。

